

准教授 竹内 創

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例		<p>「メディアをデザインする」ことをキーワードに、メディアの定義や過去にどのようなメディアが存在したかのリサーチや再評価をおこなった。</p> <p>いままであまりメディアとしての位置づけをされていない事柄に「メディア」としての評価を与え、作品/プロジェクトとして制作することで、新旧のメディアのありかたに対する認識を広げることを目標としている。</p> <p>また授業の中で人と人が共に仕事をするために必要なルールやコミュニケーションを課題の中に取り込んでいる。</p>
◎作成した教科書・教材		<p>「メディアアートの教科書」フィルムアート社                      iOSアプリMaskPicto                      iOSアプリChromakee</p>
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価		<p>FD・SD自己点検評価、授業評価アンケートの実施と公表</p>

◎その他	2016. 5	特別客員教授としてフランスよりジャン・ルイ=ボワシエ名誉教授を招聘し、メディアデザイン・ワークショップを実践した。またワークショップの成果物は京都dddギャラリーにて開催された「物質性-非物質性 デザイン&イノベーション」展にて展示された。
------	---------	--

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
産学共同プロジェクト 「メディアライブ」	2016. 12	ミツカンミュージアムにてメディアデザインコース3年生によるライブパフォーマンスイベントを開催した。
犬山市プロモーション動画制作	2017. 3	官学連携プロジェクトとして犬山市のプロモーション動画をメディアデザインコースの学生と制作した。  学外授業を積極的に取り入れ、個人制作に役立つ制作現場や展示作品を体験している。

著書, 学術論文等の名称	単著, 共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
“剥離と忘却と With detachment and oblivion”		2016. 8. 27 ～9. 10	ヴォイスギャラリー（京都）	世界考古学会議第8回京都大会の関連イベントとしてヴォイスギャラリーにて琵琶湖をテーマした映像インスタレーション作品「Nouvelle Vague」を展示。
「物質性-非物質性 デザイン&イノベーション」		2016. 09. 08 ～10. 29	京都dddギャラリー	「日本フランス・イノベーション年」のイベントとして開催された展覧会。日仏共同プロジェクトとして展示の副監修として参加。また「morse」、「photocomposer」、「monolith」を展示。
Greater Taipei Biennial of Contemporary Arts		2016. 11. 7 ～2017. 1. 14	国立台湾芸術大学（台湾）	国立台湾芸術大学主催の現代美術ビエンナーレに参加。インスタレーション作品「Echo」、「noir/blanc」を出品。